

様式 1

令和 3 年度に安芸高田市立中学校で使用する教科用図書の採択に係る答申

安芸高田市教科用図書採択地区選定委員会

観点 1	基礎・基本の定着
観点 2	主体的に学習に取り組む工夫
観点 3	内容の構成・配列・分量
観点 4	内容の表現・表記
観点 5	言語活動の充実

教科名	理科
第 1 推薦	6 1 啓林館
第 2 推薦	1 1 学図

(理科) 各教科書の主たる特徴及び意見

発行者名	主たる 観点	主 たる 特 徴
2 東書	観点 1	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の導入のページに「これまでに学んだこと」として、既習事項を整理し、他教科とのつながりも掲載されている。 観察・実験の総数が 85 設定されている。 実験観察の安全確保をマークで表している。
	観点 2	<ul style="list-style-type: none"> 「つながる科学」など 3 種類のコラムを掲載している。 各学年の巻頭に「科学で調べていこう」として探究の過程を示し、単元内では、探究の過程のどの段階を学習しているかをキーワードで示している。
	観点 3	<ul style="list-style-type: none"> 総ページ数は 922 ページ+付録である。 ものづくりの総数が 20、発展的な学習が 70 設定されている。
	観点 4	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭では、探究の流れと教科書の使い方の説明、科学の有用性、議論の進め方、発表の仕方の説明が全学年掲載されている。
	観点 5	<ul style="list-style-type: none"> 3 年間のレポート例示数は 12 で、学年ごとに 2 ずつ増える。各学年でレポートの書き方の具体例を示して説明している。 各学年の巻頭において議論の仕方、発表の仕方、プレゼンテーション資料の作成について視点を示している。
4 大日本	観点 1	<ul style="list-style-type: none"> 導入のページ数が 4 ページで、既習事項を細かく掲載している。 単元の中に基本的な内容を確認するための「例題」「演習」「章末問題」を、単元末に「単元末問題」、「読解力問題」を設定している。 観察・実験の総数が 76 設定されている。
	観点 2	<ul style="list-style-type: none"> 「くらしの中の理科」など 4 種類のコラムを掲載している。 第 1 学年の巻末に「探究の進め方」として探究の課程を示し、単元内では、マークの色を変えることで、重点を置く探究の過程を示している。
	観点 3	<ul style="list-style-type: none"> 総ページ数は 986 ページである。 ものづくりの総数が 16、発展的な学習が 86 設定されている。
	観点 4	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭では、獣医や宇宙飛行士等の紹介文とともに「理科の学習の進め方」として、教科書の使い方とマークの説明が掲載されている。

	観点 5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3年間のレポート例示数は6で、第2・3学年の2年間では1つである。第1学年の巻末でレポートの書き方を示し、レポートを作成する学年でのみ具体的な例を示している。 ・ 第1学年の巻末において話し合いの仕方、発表の仕方、発表の手順を示している。
1 1 学図	観点 1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各章の関連する内容の横に「ふりかえり」「つながり」として、既習事項や他教科とのつながりを掲載している。 ・ 単元末に「学びを日常にいかしたら」を補助的な問題として設定している。 ・ 観察・実験の総数が74設定されている。
	観点 2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「なぜ理科を学ぶの？」など4種類のコラムを掲載している。 ・ 各学年の巻頭に「探究の進め方」として探究の課程を示し、単元内では、キーワードで探究の過程の重点を示している。
	観点 3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総ページ数は840+付録である。 ・ ものづくりの総数が5、発展的な学習が36設定されている。
	観点 4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭では、理科の学び方や進め方、科学の有用性の説明に多くのページを割き、全学年掲載されている。
	観点 5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3年間のレポート例示数は19であり、学年順に増え、第3学年で10示している。各学年の巻頭においてレポートの書き方を簡易的に示し、具体例も示している。 ・ 各学年の巻頭において発表の仕方の視点と発表スライドの作り方を説明している。
1 7 教出	観点 1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各章の導入部に「これまでの学習」や「思い出そう」「ブリッジ算数」「ブリッジ数学」として、既習事項や数学科とのつながりを掲載している。 ・ 各学年末には「学年末総合問題」を設定している。 ・ 観察・観察の総数は71設定されている。 ・ 実験観察の安全確保をマークで表している。
	観点 2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ハローサイエンス」として1種類のコラムを掲載している。 ・ 各学年の巻頭に「探究の進め方」として探究の課程を示し、「疑問から探究してみよう」を各単元に設定して、探究の進め方に沿った学習活動を示している。
	観点 3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総ページ数は1018 ページ+付録である。 ・ ものづくりの総数が10、発展的な学習が78設定されている。
	観点 4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭では、探究の進め方やレポートの書き方等について全学年掲載されている。
	観点 5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3年間のレポート例示数は15である。第1学年が最も多い。各学年の巻頭で、レポートの書き方を示しており、具体例も示している。 ・ 課題や仮説の設定、観察・実験の立案、結果の処理、考察場面において、「話し合おう」というキーワードを用いて話し合い活動を設定しているが、話し合いや発表に関しての視点等は示していない。

61 啓林館	観点1	<ul style="list-style-type: none"> 各章の導入部に「つながる学び」として、QRコードとともに、既習事項を掲載している。 基本的な内容を確認するための「例題」「練習」「基本のチェック」、第3学年の巻末には「中学校総合問題」を設定している。 観察・実験の総数は76設定されている。 安全確保をマークで表している。
	観点2	<ul style="list-style-type: none"> 部活・料理・防災減災・仕事等に分けて7種類のコラムを掲載している。 各学年の巻頭及び巻末に探究の過程の流れを示し、各単元の1か所に「探Q実験」を設定し、巻末に添付した「探Qシート」に生徒が書き込むことで、探究の過程に沿った学習活動を行うことができるようにしている。
	観点3	<ul style="list-style-type: none"> 総ページ数は964ページ+付録である。 ものづくりの総数が16、発展的な学習が69設定されている。
	観点4	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭では、探究の過程の説明、教科書の使い方やマークの説明が全学年掲載されている。
	観点5	<ul style="list-style-type: none"> 3年間のレポート例示数は18で2番目に多い。学年順に1つずつ増える。各学年でレポートの具体例とレポート作成の要点を示しており、一部に作成のチェックリストも提示している。 第1・2学年で話し合いと発表の手順と「話す」「聞く」「話し合い方」の説明をしている。ブレインストーミング、ジグソー法が対話方法の例として示されている。